

高齢者歯科学

| | | |
|-----|-----|------------------|
| 年次 | 学期 | 学則科目責任者 |
| 4年次 | 前学期 | 川良 美佐雄（顎口腔機能治療学） |

| | |
|--------------------------|---|
| 学修目標 (GIO) | <p>わが国における高齢化率は、2014年（平成26年）には対全人口比で65歳以上が25.1%（前年24.1%）に達し、2035年（平成47年）には33.4%になると推測されている。このような超高齢社会において歯科医学、歯科医療の担う比重は大きい。</p> <p>高齢者にとって食べられるということは、QOLの最上位に位置すると言って過言ではなく、口腔保健の良否が社会生活を左右する。また、目標とされる健康長寿社会への貢献については関連分野との連携が必須である。</p> <p>したがって、顎口腔系の加齢変化および歯科的対応はもとより、高齢者をとりまく社会経済的環境、保健福祉制度をはじめとして、慢性疾患、薬物動態、全身管理についても理解を深めておかなければならない。</p> <p>GIO：健康長寿に貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。</p> |
| 担当教員 | 川良 美佐雄、小見山 道、黒木 俊一、鈴木 浩司、浅野 隆、飯田 崇、那須 郁夫、坂巻 達夫、大口 純人、福本 雅彦、齊藤 孝親、※菊谷 武、渋谷 鑛、山根 潤一、三枝 禎、※平野 浩彦、野本 たかと |
| 教科書 | 老年歯科医学 森戸光彦（編集主幹）、一般社団法人日本老年歯科医学会（編集協力） 医歯薬出版 指定しない |
| 参考図書 | 高齢者歯科診療ガイドブック 下山和弘、櫻井 薫、深山治久、米山武義 編集（財）口腔保健協会 動画で分る摂食・嚥下リハビリテーション 藤島一郎、柴本 勇 監修 中山書店 |
| 評価方法 (EV) | 第1回平常試験（30%）試験範囲：第1回～第7回講義 第2回平常試験（70%）試験範囲：第1回～第14回講義で評価します。 特定の講義や課題に偏ることはない。 問題形式は多肢選択問題および記述問題の混合形式とする。 |
| 学生への メッセージ オフィスアワー | 毎回の講義のポイントをおさえるようにしましょう。 すでに超高齢社会（21%以上）となったいま、高齢者歯科学の基礎を学び、しっかりと対応してゆこう。 医科、看護、介護、社会福祉といった関連領域では歯科に対する期待も大きい。多職種連携に備えよう。 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------|--|-----------------|
| 2016/04/05 (火) 1時限 09:00～10:30 | 高齢者に多い口腔疾患 | <p>【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 高齢者におけるう蝕、咬耗、歯周病を説明できる。 2. 高齢者における歯内療法を説明できる。 3. 高齢者における歯科補綴を説明できる。 4. 高齢者における軟組織、口腔粘膜疾患を説明できる。 5. 高齢者における硬組織関連疾患を説明できる。 6. 高齢者における神経疾患を説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 歯科保存学 歯科補綴学 歯科口腔外科学</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 ウ 加齢による歯・口腔・顎・顔面の変化 a 歯の変化</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 ウ 加齢による歯・口腔・顎・顔面の変化 b 歯周組織の変化 e 歯列・咬合の変化 i 口腔粘膜の変化</p> <p>歯科医学各論 各論VI 高齢者の歯科診療 1 歯の硬組織疾患 ア 齶蝕の特徴 2 歯髄・根尖性歯周組織疾患 ア 歯髄疾患の特徴 6 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 コ 治療前後の管理 7 口腔粘膜疾患 イ 口腔乾燥症 9 顎骨の炎症</p> | 小見山 道 川良 美佐雄 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------|--|--------------------------|
| 2016/04/05 (火) 1時限 09:00～10:30 | 高齢者に多い口腔疾患 | オ 薬剤関連顎骨壊死・壊疽・顎骨骨髓炎 10 神経疾患 ウ 顔面神経麻痺 オ 口腔ジスキネジア 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-4) 人体諸器官の成長、発育と加齢変化 *①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *③高齢者に多くみられる疾患を説明できる。 | 小見山 道 川良 美佐雄 |
| 2016/04/12 (火) 1時限 09:00～10:30 | 高齢者の保健・医療・福祉 | 【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1.わが国の高齢者に関する、保健、医療、福祉制度とその連携について説明できる。 2.老人保健法の枠組みにおける、老人医療と保健事業のあり方を知り、歯科医師の役割を説明できる。 【準備学修項目】 高齢者に関する、保健、医療、福祉制度とその連携 老人保健法の枠組みにおける、老人医療と保健事業のあり方 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 f 保健・医療・福祉・介護の各制度と職種 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 カ 成人・高齢者保健 c 介護予防 (地域支援事業、予防給付) d 福祉、介護保険 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *③介護保険制度を説明できる。 *⑤高齢者のおかれた社会環境を説明できる。 *⑦ノーモライゼーションの考え方を説明できる。 *⑨地域における保健・医療・福祉・介護の分野間の連携および他職種間の連携の必要性について説明できる。 *⑩地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を説明できる。 | 那須 郁夫 川良 美佐雄 小見山 道 |
| 2016/04/19 (火) 1時限 09:00～10:30 | 加齢に伴う全身、および歯、顎、口腔の変化 | 【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1.老化の機序を説明できる。 2.老化の身体的、精神的、心理的特徴を説明できる。 3.加齢に伴う歯、顎、口腔の生理的、機能的変化を説明できる。 【準備学修項目】 老化の身体的、精神的、心理的特徴 加齢に伴う歯、顎、口腔の生理的、機能的変化 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 1 人体の発生・成長・発達・加齢 ク 加齢、老化 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 6 加齢・老化による歯・口腔・顎・顔面の変化 ア 形態的变化 イ 機能的変化 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-4) 人体諸器官の成長、発育と加齢変化 *①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。 | 川良 美佐雄 小見山 道 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------|---|-----------------------------------|
| 2016/04/19 (火) 1時限 09:00~10:30 | 加齢に伴う全身、 および歯、顎、口 腔の変化 | E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *①老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 *②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。 | 川良 美佐雄 小見山 道 |
| 2016/04/26 (火) 1時限 09:00~10:30 | 高齢者医療の特徴 と慢性疾患 | 【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 高齢者医療の現状を説明できる。 2. 高齢者の生理的・機能的変化について説明できる。 3. 高齢者で頻度の高い慢性疾患を挙げ説明できる。 4. 慢性疾患として挙げられる老年病を機序別に説明できる。 5. 歯科治療と高齢者慢性疾患とのかわりを説明できる。 【準備学修項目】 高齢者の生理的・機能的変化 高齢者で頻度の高い慢性疾患 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 診察 5 高齢者への対応 ウ 医療情報の収集 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅵ 高齢者の歯科診療 13 管理に留意すべき全身疾患 ア 循環器疾患 イ 悪性新生物 ウ 呼吸器疾患 エ 腎臓疾患 オ 精神・心身医学的疾患 カ その他の高頻度にみられる全身疾患・症状 キ 要介護の原因疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *①老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 *③高齢者に多くみられる疾患を説明できる。 E-4-6) 歯科医師に必要な医学的知識 *①代表的な医科疾患(内科的疾患)を説明できる。 *②主要な医科疾患の症候を説明できる。 | 大口 純人 坂巻 達夫 川良 美佐雄 小見山 道 |
| 2016/05/10 (火) 1時限 09:00~10:30 | 高齢者と臨床検査 医学 | 【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 高齢者における罹患頻度の高い慢性疾患を説明できる。 2. 臨床検査データから全身状況を説明できる。 3. 医師との連携を円滑に行うことができる。 4. 全身状態に応じた歯科治療を選択できる。 【準備学修項目】 高齢者における罹患頻度の高い慢性疾患 全身状態に応じた歯科治療 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 診察 5 高齢者への対応 ウ 医療情報の収集 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅵ 高齢者の歯科診療 13 管理に留意すべき全身疾患 ア 循環器疾患 イ 悪性新生物 エ 腎臓疾患 カ その他の高頻度にみられる全身疾患・症状 歯科医学総論 総論Ⅸ 検査 3 検体検査 ア 検体の採取・保存 イ 一般臨床検査 ウ 血液学検査 エ 生化学検査 | 福本 雅彦 黒木 俊一 川良 美佐雄 小見山 道 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------|--|-----------------------------------|
| 2016/05/10 (火) 1時限 09:00～10:30 | 高齢者と臨床検査 医学 | 4 生体機能検査 カ 内分泌・代謝機能検査 ク 腎機能検査 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *③高齢者に多くみられる疾患を説明できる。 *⑥高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。 E-4-6) 歯科医師に必要な医学的知識 *②主要な医科疾患の症候を説明できる。 | 福本 雅彦 黒木 俊一 川良 美佐雄 小見山 道 |
| 2016/05/17 (火) 1時限 09:00～10:30 | 要介護高齢者と歯 科 | 【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 高齢者の福祉・介護の各制度について説明できる。 2. 要介護高齢者の食事の実際を説明できる。 3. 施設における口腔のケアについて説明できる。 4. 高齢患者とのコミュニケーション技法を説明できる。 【準備学修項目】 高齢者の福祉・介護の各制度 要介護高齢者の食事の実際 施設における口腔のケア 高齢患者とのコミュニケーション技法 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 f 保健・医療・福祉・介護の各制度と職種 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 3 保健・医療・福祉・介護の仕組みと資源 カ 福祉・介護の制度と職種 キ 医療連携、チーム医療 ク 保健・医療・福祉・介護の制度と連携 歯科医学各論 各論 VI 高齢者の歯科診療 13 管理に留意すべき全身疾患 オ 精神・心身医学的疾患 キ 要介護の原因疾患 14 訪問歯科診療 イ 口腔衛生管理のための口腔ケア 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *③介護保険制度を説明できる。 *④社会福祉制度を説明できる。 *⑤高齢者のおかれた社会環境を説明できる。 *⑨地域における保健・医療・福祉・介護の分野間の連携および他職種間の連携の必要性について説明できる。 | 齊藤 孝親 川良 美佐雄 小見山 道 |
| 2016/05/24 (火) 1時限 09:00～10:30 | 高齢者の口腔介護・ リハビリテーショ ン | 【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 摂食・嚥下障害の身体所見を説明することができる。 2. 摂食・嚥下障害に対するリハビリテーションの理念を説明できる。 3. 摂食・嚥下障害の食事指導、食事介助を説明できる。 4. 高齢者の栄養管理・栄養療法について説明できる。 【準備学修項目】 摂食・嚥下障害の身体所見 摂食・嚥下障害に対するリハビリテーションの理念 摂食・嚥下障害の食事指導、食事介助 高齢者の栄養管理・栄養療法 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 VIII 診察 5 高齢者への対応 ク 摂食・嚥下機能とリハビリテーション 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 | 菊谷 武 川良 美佐雄 小見山 道 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------|--|----------------------------------|
| 2016/05/24 (火) 1時限 09:00～10:30 | 高齢者の口腔介護・リハビリテーション | 各論Ⅵ 高齢者の歯科診療 16 摂食・嚥下障害 ア 摂食・嚥下障害の評価・検査 a 身体所見 b 栄養、食事 d 検査 a リハビリテーションの理念 d 食事指導、食事介助 e 歯科的アプローチ 17 高齢者の栄養管理 ア 栄養状態の評価 イ 食内容の管理 ウ 食形態の管理 オ 栄養指導 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *⑩摂食・嚥下障害の診察、検査、診断を説明できる。 *⑪摂食・嚥下リハビリテーションを説明できる。 *⑤口腔機能向上による介護予防について説明できる。 | 菊谷 武 川良 美佐雄 小見山 道 |
| 2016/05/31 (火) 1時限 09:00～10:30 | 第1回平常試験 | 【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 平常試験 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室 | 川良 美佐雄 小見山 道 黒木 俊一 |
| 2016/06/07 (火) 1時限 09:00～10:30 | 高齢者歯科診療における全身管理 | 【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 高齢者歯科診療でのモニタリングを説明できる。 2. 循環器疾患患者での術前評価と注意点を説明できる。 3. 脳血管障害患者での術前評価と注意点を説明できる。 【準備学修項目】 高齢者歯科診療でのモニタリング 循環器疾患患者での術前評価と注意点 脳血管障害患者での術前評価と注意点 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 17 全身管理に留意すべき全身疾患・状態 ス 高齢者 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅵ 高齢者の歯科診療 13 管理に留意すべき全身疾患 ア 循環器疾患 イ 悪性新生物 ウ 呼吸器疾患 エ 腎臓疾患 カ その他の高頻度にみられる全身疾患・症状 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *③高齢者に多くみられる疾患を説明できる。 *⑥高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。 | 渋谷 鏡 川良 美佐雄 小見山 道 |
| 2016/06/14 (火) 1時限 09:00～10:30 | 高齢者歯科と薬物 | 【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 高齢者における薬物の体内動態について説明できる。 2. 高齢者の薬物投与の原則を説明できる。 3. 投薬の実際について説明できる。 【準備学修項目】 高齢者における薬物の体内動態 高齢者の薬物投与の原則 投薬の実際 【学修方略（LS）】 講義 | 山根 潤一 三枝 禎 川良 美佐雄 小見山 道 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------|---|---|
| 2016/06/14 (火) 1時限 09:00～10:30 | 高齢者歯科と薬物 | <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 i 治療の基礎・基本手技 h 薬物療法 j 薬物投与上の注意（禁忌、小児、妊婦、高齢者、全身疾患を有する患者）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 ア 薬物療法の種類 イ 適用方法と剤形 ウ 薬物動態 エ 薬効に影響を及ぼす因子 キ 薬物の連用 ク 服薬指導</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *⑤薬物の連用の影響（薬物耐性、蓄積および薬物依存）を説明できる。 *⑥薬物の併用（協力作用、拮抗作用、相互作用）を説明できる。 C-5-3) 薬物の適用と体内動態 *①薬物の適用方法の種類とその特徴を説明できる。 *②薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）を説明できる。 C-5-4) 薬物の副作用と有害作用 *①薬物の一般的副作用、有害作用と口唇・口腔・顎顔面領域に現れる副作用、有害作用を説明できる。</p> | 山根 潤一 三枝 禎 川良 美佐雄 小見山 道 |
| 2016/06/21 (火) 1時限 09:00～10:30 | 口腔機能管理 | <p>【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 高齢者の口腔機能低下を説明できる。 2. 高齢者の口腔機能の評価について説明できる。 3. 高齢者の口腔ケアについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 口腔機能検査 口腔ケア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 6 加齢・老化による歯・口腔・顎・顔面の変化 イ 機能的変化</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 オ 舌・口腔粘膜検査 カ 歯列・咬合検査 キ 唾液・唾液腺検査 サ 顎関節・筋機能検査 シ 舌運動・舌圧検査 ス 咀嚼機能検査 ソ 嚥下機能検査 タ 構音機能検査 チ 鼻咽腔閉鎖機能検査 ツ 味覚検査</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-4) 人体諸器官の成長、発育と加齢変化 *①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。 *③高齢者に多くみられる疾患を説明できる。 *④高齢者における口腔ケア処置について説明できる。</p> | 黒木 俊一 鈴木 浩司 浅野 隆 飯田 崇 川良 美佐雄 小見山 道 |
| 2016/06/28 (火) 1時限 09:00～10:30 | 高齢者歯科治療の 実際 | <p>【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 高齢者に多くみられる疾患を説明できる。 2. 有病高齢者の歯科治療時の注意点を説明できる。 3. 高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。 4. 医科との連携について説明できる。 5. 高齢者の生活環境と口腔実態の関わりについて説明できる。</p> | 平野 浩彦 川良 美佐雄 小見山 道 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------|---|---|
| 2016/06/28 (火) 1時限 09:00～10:30 | 高齢者歯科治療の 実際 | <p>【準備学修項目】 高齢者に多くみられる疾患 有病高齢者の歯科治療時の注意点 高齢者の歯科治療時の全身管理 医科との連携 高齢者の生活環境と口腔実態の関わり</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 3 0 2 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 診察 5 高齢者への対応 エ 診察</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅵ 高齢者の歯科診療 1 3 管理に留意すべき全身疾患 ア 循環器疾患 イ 悪性新生物 ウ 呼吸器疾患 エ 腎臓疾患 オ 精神・心身医学的疾患 カ その他の高頻度に見られる全身疾患・症状 キ 要介護の原因疾患 1 8 補綴歯科治療 ウ 機能低下とその対応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *①老化の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 *②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。 *③高齢者に多くみられる疾患を説明できる。 *④高齢者における口腔ケア処置について説明できる。 *⑥高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。</p> | 平野 浩彦 川良 美佐雄 小見山 道 |
| 2016/07/05 (火) 1時限 09:00～10:30 | 口腔機能管理 | <p>【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 高齢者の口腔機能低下を説明できる。 2. 高齢者の口腔機能の評価について説明できる。 3. 高齢者の口腔ケアについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目】 口腔機能検査 口腔ケア</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 3 0 2 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅴ 発生、成長、発達、加齢 6 加齢・老化による歯・口腔・顎・顔面の変化 イ 機能的変化</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅸ 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 ク 口腔清掃状態検査 コ 下顎運動検査 サ 顎関節・筋機能検査 セ 咬合力検査 タ 構音機能検査 ツ 味覚検査 テ 口臭検査</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-4) 人体諸器官の成長、発育と加齢変化 *①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *②老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明できる。 *③高齢者に多くみられる疾患を説明できる。 *④高齢者における口腔ケア処置について説明できる。</p> | 黒木 俊一 鈴木 浩司 浅野 隆 飯田 崇 川良 美佐雄 小見山 道 |
| 2016/07/12 (火) 1時限 09:00～10:30 | 高齢者の摂食嚥下 障害とリハビリテー ション | <p>【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。</p> | 野本 たかと 川良 美佐雄 小見山 道 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------|--|---------------------------|
| | 高齢者の摂食嚥下障害とリハビリテーション | <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 摂食・嚥下機能の病因・病態を説明できる。 2. 摂食・嚥下障害の評価・検査を説明できる。 3. 摂食・嚥下障害への対応を説明できる。 <p>【準備学修項目】</p> <p>摂食・嚥下機能の病因・病態 摂食・嚥下障害の評価・検査 摂食・嚥下障害への対応</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅷ 診察 5 高齢者への対応 ク 摂食・嚥下機能とリハビリテーション</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅵ 高齢者の歯科診療 15 摂食・嚥下機能 ア 摂食・嚥下機能の加齢変化 イ 摂食・嚥下障害の病因・病態 ウ 摂食・嚥下障害の評価・検査 16 摂食・嚥下障害 ア 摂食・嚥下障害の評価・検査 c スクリーニングテスト b 間接訓練 c 直接訓練、段階的摂食訓練 e 歯科的アプローチ</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *⑩摂食・嚥下障害の診察、検査、診断を説明できる。 *⑪摂食・嚥下リハビリテーションを説明できる。</p> | 野本 たくと 川良 美佐雄 小見山 道 |
| 2016/07/19 (火) 1時限 09:00～10:30 | 高齢者歯科訪問診療 | <p>【授業の一般目標】</p> <p>健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅要介護者の歯科治療時の注意点を説明できる。 2. 要介護者の補綴装置の管理について説明できる。 3. 訪問歯科診療にかかわる社会保障制度を説明できる。 4. 口腔管理プランの策定について説明できる。 <p>【準備学修項目】</p> <p>在宅要介護者の歯科治療時の注意点 要介護者の補綴装置の管理 訪問歯科診療にかかわる社会保障制度 口腔管理プランの策定</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅷ 診察 5 高齢者への対応 キ 在宅歯科医療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅵ 高齢者の歯科診療 13 管理に留意すべき全身疾患 カ その他の高頻度に見られる全身疾患・症状 キ 要介護の原因疾患 14 訪問歯科診療 ア 口腔管理プランの策定 イ 口腔衛生管理のための口腔ケア ウ 口腔機能管理のための口腔ケア エ 補綴装置の管理 18 補綴歯科治療 イ 咬合の変化とその対応 ウ 機能低下とその対応 エ 補綴装置の破損とその対応 オ 義歯の管理</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *④高齢者における口腔ケア処置について説明できる。 *⑧要介護高齢者(在宅要介護者も含む)の歯科治療時の注意点を説明できる。 *⑩歯科訪問診療について説明できる。</p> | 飯田 崇 川良 美佐雄 小見山 道 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------|---|--------------------------|
| 2016/07/19 (火) 1時限 09:00~10:30 | 高齢者歯科訪問診療 | | 飯田 崇 川良 美佐雄 小見山 道 |
| 2016/09/06 (火) 1時限 09:00~10:30 | 第2回平常試験 | <p>【授業の一般目標】 健康長寿に医療人として貢献するために、高齢者歯科医学の基本的な知識、技能、態度を修得する.</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> | 川良 美佐雄 黒木 俊一 小見山 道 |